

会議録

会議の名称	令和4年度 第2回あま市文化財保護審議会
開催日時	令和5年3月20日（月） 午後3時から
開催場所	あま市美和公民館 2階 会議室
内 容	<p>1 あいさつ（松永教育長）</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 令和4年度文化財保護活動及び資料館活動報告</p> <p>(2) 令和5年度文化財保護活動及び資料館活動計画</p> <p>(3) 文化財保存活用地域計画の進捗状況について</p> <p>3 その他</p>
資 料	<p>資料1 令和4年度文化財保護活動及び資料館活動報告</p> <p>資料2 令和5年度文化財保護活動及び資料館活動計画</p> <p>資料3 あま市文化財保存活用地域計画について</p>
出席委員	<p>宮地正耕会長</p> <p>石川稔子委員、筒井正委員、溝口紘委員、渡邊裕之委員、渡辺幸人委員（50音順）</p>
欠席委員	藤井智鶴委員
事務局	<p>（教育委員会）</p> <p>松永裕和教育長、鎌倉崇志部長</p> <p>（教育部生涯学習課）</p> <p>内山伸也課長、近藤博主幹、入野真由美係長、駒瀬直輝主任、渡邊彩希主任</p>

会議の経過

1 あいさつ

松永教育長より

2 協議事項

(1) 令和4年度文化財保護活動及び資料館活動報告

資料1に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

(2) 令和5年度文化財保護活動及び資料館活動計画

資料2に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

(3) あま市文化財保存活用地域計画について

資料3に沿って事務局より説明

【質疑応答】

委員：基本理念にある「あまらしさ」というものが抽象的であり、分かりにくい。基本理念は極めて重要であり、市職員の共通理解としていただきたい。

事務局：あま市の歴史遺産、歴史文化が「あまらしさ」にあたる。あま市のオリジナリティを出せたらよい。「あまらしさ」というワードを事業にも取り入れ、定着させていけたらと考えている。

委員：基本理念の案は、どのように議論されているのか。

事務局：事務局と委託業者であるランドブレイン株式会社で進めている。

委員：地域の特性が出ないため、業者に丸投げはよくない。事務局が議論の中心となって進めていただきたい。

委員長：地域計画も2年目をもうすぐ迎える。今回の委員からの意見を踏まえながら進めていただければと思う。

市民アンケートの内容や詳細結果は今回の資料にはないのか。

事務局：今回の資料には含んでいないため、後日委員の皆様にご送らせていただく。

委員：地域の様々な歴史・文化について、後継者不足の問題を抱えていると感じる。事務局はどのように把握しているのか。

事務局：地域計画の策定においてヒアリングを実施する中で、七宝焼きや刷毛等の産業関係は後継者がわずかであるという話が出ている。また、お祭り関係は実際になくなっているものがある。

委員長：そのような問題に対して事務局としてサポートする体制はあるのか。

事務局：今のところはないが、可能な範囲でやっていけたらと思う。

3 その他

各委員より一言

委員：地域計画に関しては、文化財以外の市民の生活が蓄積された中から出てくる歴史について視野を広げて考えていくと、「あまらしさ」や新たな活用法の案が出てくるのではないかな。

また、実際小学校で実施している移動博物館や出前授業の機会が更に増えるとよいと思う。

委員：地域計画のアンケート結果を見ても、あま市の歴史・文化に興味・関心のない小中学生は多い。あま市の歴史・文化について、強力な情報発信を続けていくことが重要だと考える。

委員：子どもたちにとっての「あまらしさ」は、おそらく「田舎」や「田んぼ」といった簡易的なイメージのものが挙がるのではないかな。地域計画に沿って文化財の保存・活用を進めていく中での「あまらしさ」がどういったものなのかを示すべきでないかな。

国や市町村の財政難の状況や、コロナ禍を経験したことで日々の生活が更に重要視される中ではあるが、文化財も大切であると考え。どうすれば文化財が活用できるのか、より多くの方々に知ってもらえるか、取捨選択をしながら考えていく必要がある。

また、デジタル化が進んではいるが、その中でもアナログの大切にしながら、双方を利用しながら発信等をしていくべきだと考える。

委員：あま市の文化財を含めた歴史・文化をないがしろにすると、魅力のないまちになってしまう。若い子どもたちにあま市の地域の良さ・素晴らしさを様々な体験を通じて持ってもらい、確立させたい。

また、地域計画は地域創生・地域活性に関わってくる大きな事業だと考えている。より多くの人々に意見を聞いて議論をし、次の世代へ財産として受け継ぐことができるような体制を整えるべきだと考える。

委員：下萱津のフジに関しては、年間管理や修繕の予算が限られている中で今までどおり維持していくのは難しいと思う。管理方法やフジ公開の在り方について再検討してもよいと考える。

令和5年度 第1回あま市文化財保護審議会

開催日時：未定

開催場所：未定